

桜木小学校



校章の由来

PTA会員の図案が採用された。桜の花冠の中に、おしべで木を表し、それらを合わせて「桜木」とし、中心に豊川市の「豊」の文字を配した。

- 1955 (昭30) 豊川小学校分校開校
桜の苗木を校庭周囲に植樹
- 1956 (昭31) 校名が「桜木小学校」と決定
- 1957 (昭32) 「豊川市立桜木小学校」開校
校章・校歌決定 土手に茶の播種
- 1961 (昭36) 校旗を制定
学校文集第1号発行
- 1965 (昭40) FBCコンクール特選
- 1966 (昭41) 児童による茶摘みの始まり
- 1967 (昭42) 運動場に芝の定植
- 1968 (昭43) 野草栽培園・日陰植物栽培園、観察池完成
東門付近銀杏の植樹
- 1971 (昭46) 新校舎(管理棟)完成
- 1972 (昭47) 体育館完成
- 1976 (昭51) プール完成
- 1977 (昭52) 体力づくりのために校内マラソン開始
- 1980 (昭55) マーチングバンド中部大会優良校
- 1986 (昭61) 「木造校舎とお別れ会」 新校舎完成
- 1991 (平 3) フィールドアスレチック設置
- 1995 (平 7) 農園設置工事
- 2001 (平13) 全国ビオトープコンクール奨励賞
- 2002 (平14) わくわく生き生き事業「桜木生き物の森」完成
- 2003 (平15) 全国ビオトープコンクール 日本生態系協会会長賞
- 2005 (平17) 世界子ども環境サミットフィールドトリップ参加
- 2007 (平19) 創立50周年式典
- 2008 (平20) ホタル放流式
- 2009 (平21) 愛知県緑化コンクール入選
- 2014 (平26) トイレ乾式化改修工事



空からの木造校舎 (S35)



木造校舎とお別れ会 (S61)



春のビオトープ (H21)

本校は、昭和30年9月、豊川小学校分校として始まり、昭和32年4月1日、豊川小学校より分離独立し、児童数732名、14学級で開校した。創立当時、雑草茂る校地ではあったが、そこにたたく校舎は、赤い瓦屋根に板壁の淡い桃色が明るく映えて、とても美しかった。以来、保護者を始め校区の方々の献身的な奉仕を受け、学校環境を整えていくことができた。校名に因んで校庭周りに植えられた桜も大木になり、春には美しい花を咲かせている。緑豊かな学校の中で、桜木の「もの・ひと・こと」を生かした教育活動が行われている。



開校当時の校舎 (S33)



花形だった鼓笛隊 (S37)



FBC入選花壇と子どもたち (S42)



授業風景 (S34)



校庭の「桜木茶」を摘む (S48)



児童会主催のギネス大会 (H4)

桜木の歴史を聴く会

昔、桜木小が豊川小から分かれてできたことは知りませんでした。初めは732人もいたということや、園芸部、図工部、バレー部など、いろいろな部活があったことに、驚きました。開校の時に地域やPTAの方々桜などの苗木を植えてくれたそうです。自分たちの学校ができてうれしいという気持ちの表れだという話を聞いて、ほくたちも学校を大切にしていきたいと思いました。(6年児童感想)



現在の校舎 (H26)